

総合型クラブがある町の「わがまち自慢！」

私達の宝物 ～木地師の跡～

福島県南会津町

□■私達の宝物～木地師の跡～

良質なブナを求め山々を転々としながらブナを伐採し、その原木から椀を作る職人を「木地師(きじし)」と呼びます。

この木地師が会津地方に生まれたのは1590年頃と言われ、豊富なブナがある当地域は木地師の里でもあり、山奥のブナ林の中には当時の木地師の生活の跡が今なお残っています。木地師の伝統は約60年前には消えてしまいましたが、クラブ活動を通してこのような歴史や伝統がこの地域にあったことを伝えることで、地域の深さを肌で感じていただいております。



木地師が暮らしたブナ林の中には、今でも当時木地師が作った石像がひっそりと残っています。



また、豊富なブナの原生林からくる清流は魚影も濃く、絶好のクラブ活動の場にもなっています。

これらの活動で、普段当たり前過ぎて目にも入らなくなってしまう景色に、深い歴史と文化さらには楽しみ方を発見し、これまでとは違った地域の魅力が生まれていくのです。

□■スポーツ以外の活動の必要性

「スポーツだけでは長続きしないのでは」。小学生時代に県内に何百人もいた同級生の競技(アルpensキー)仲間が、今では私ただ1人になってしまった競技人生から得た感想です。

そうならないために、総合型クラブを設立し、多種目型としてのクラブ整備や一貫指導体制を確立するなどし、ライフステージに応じたスポーツ環境を構築することで会員の生涯スポーツを支えるクラブとして発展されている所もあるでしょう。当クラブも、もちろんそのように生涯スポーツの基盤づくりを進めておりますが、同時に取り組んでいるのが、上記に紹介した「スポーツだけじゃない」活動なのです。

□■トンネルの入口は‘スポーツ’。長いトンネルを抜けた先は‘地域の活性化’！

当クラブがある地域は、人口減少による小学校の統廃合問題や団体スポーツ種目の廃止等、様々な問題が発生しております。このような状況の中だからこそ、総合型クラブが地域に明るい話題を提供できる存在、つまり地域に活性化をもたらすクラブでなければならないと思っています。

そのためには、会員の皆さんがクラブ活動に参加することで、地域に愛着や誇りを感じていけるようなしかけが必要であり、それが先に紹介したいくつかの活動となっております。

このような取り組みで、クラブ員一人一人の人生を豊かにし、その積み重ねが豊かな地域をつくる歩みであると思っています。

様々な地域課題が存在し、一見暗いトンネルがあるように思えても、一步踏み込んで行くとそこには様々な明るいクラブ活動が展開されている。そしてその先には地域活性化というさらに明るい出口があることを知っているのは私だけではないはずです。

湯田賢史（ひのきスポーツクラブ マネジャー）



【ひのきスポーツクラブ プロフィール】

1. 設立

地区体育協会の停滞に伴い、平成14年に地区体育協会を解散しクラブを設立

2. 地域

人口：1,721人

特性：ブナの原生林と輝く水田が残る自然豊かな地域

3. クラブ

会員数：1,721人（※全地区民を対象）

地域活性化を最上位目標に掲げた取り組みは、「地域再生に寄与した」と評価され、昨年度県知事表彰を受ける。年間予算は305万円

4. 連絡先

〒967-0000 福島県南会津郡南会津町福米沢字宮ノ前1381

TEL：0241-62-6100 FAX：0241-62-1288

Email：ken-y@town.minamiaizu.lg.jp

HPアドレス：<http://www.geocities.jp/hinokisportsclub/index.htm>

（HPには、活動の面白いアイデア満載。必見です！）